

官報

號外 昭和九年三月二十日

第六十五回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十九號

昭和九年三月十九日(月曜日)午前十時二十一分開議

議事日程 第二十九號

昭和九年三月十九日

午前十時開議

第一 昭和九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號) 會議(委員長報告)

第二 昭和九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 會議(委員長報告)

第三 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號) 會議(委員長報告)

第四 輸出水産物取締法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第五 地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第二讀會

第六 秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第七 播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第二讀會

第八 農會法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第九 大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十 朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十一 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十二 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十三 製鐵所特別會計法廢止法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十四 出版法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十五 健康保險法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十六 癩兵院法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十七 未成年者飲酒禁止法ノ改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第十八 師範學校生徒給費國庫支辨ノ請願 會議

第十九 神奈川縣小田原町水道敷設費補助ノ請願 會議

第二十 漁業保險法制定ノ請願 會議

第二十一 東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ノ請願 會議

第二十二 神跡調査ニ關スル請願 會議

第二十三 少年團日本聯盟加盟援助ニ關スル請願 會議

第二十四 新潟港ニ家畜傳染病檢疫所設置ノ請願 會議

第二十五 私立中等學校ニ對シ低利資金融通ノ請願 會議

第二十六 私立中等學校ニ對シ國庫補助ノ請願 會議

第二十七 奧羽本線鐵道福島、米澤兩驛間鐵道電化ノ請願 會議

第三十八 大湊、大間鐵道速成ニ關スル請願 會議

第三十九 三陸沿岸鐵道速成ノ請願 會議

第四十 豫定線鐵道青森、五所川原間鐵道速成ニ關スル請願 會議

第四十一 北滿鐵道運賃低減ノ請願 會議

第四十二 石卷港修築事業繼續ノ請願 會議

第四十三 青森港修築年限短縮ノ請願 會議

第四十四 東北地方重要港灣ニ移動汽船設備ノ請願 會議

第四十五 時局匡救事業繼續ノ請願 會議

第四十六 東北地方ニ國立水産試驗場設置ノ請願 會議

第四十七 東北地方ニ國立園藝試驗場設置ノ請願 會議

第四十八 東北地方ニ肥料配合所設置ノ請願 會議

第四十九 東北地方、滿鮮地方間ニ連絡航路開設ノ請願 會議

第三十 北海道利尻郡鷲泊村ニ船入潤築設ノ請願 會議

第三十一 北海道苫前郡初山別漁港修築ノ請願 會議

第三十二 鬼怒川上流ニ貯水池設置ノ請願 會議

第三十三 耕地擴張改良事業ノ豫算計上ニ關スル請願 會議

第三十四 帝國議會開院式ニ國歌奉唱ノ請願 會議

第三十五 村上神社創立ノ請願 會議

第三十六 書道振興獎勵ニ關スル請願 會議

第三十七 奧羽本線鐵道福島、米澤兩驛間鐵道電化ノ請願 會議

第三十八 大湊、大間鐵道速成ニ關スル請願 會議

第三十九 三陸沿岸鐵道速成ノ請願 會議

第四十 豫定線鐵道青森、五所川原間鐵道速成ニ關スル請願 會議

第四十一 北滿鐵道運賃低減ノ請願 會議

第四十二 石卷港修築事業繼續ノ請願 會議

第四十三 青森港修築年限短縮ノ請願 會議

第四十四 東北地方重要港灣ニ移動汽船設備ノ請願 會議

第四十五 時局匡救事業繼續ノ請願 會議

第四十六 東北地方ニ國立水産試驗場設置ノ請願 會議

第四十七 東北地方ニ國立園藝試驗場設置ノ請願 會議

第四十八 東北地方ニ肥料配合所設置ノ請願 會議

第四十九 東北地方、滿鮮地方間ニ連絡航路開設ノ請願 會議

第三十七 奧羽本線鐵道福島、米澤兩驛間鐵道電化ノ請願 會議

第三十八 大湊、大間鐵道速成ニ關スル請願 會議

第三十九 三陸沿岸鐵道速成ノ請願 會議

第四十 豫定線鐵道青森、五所川原間鐵道速成ニ關スル請願 會議

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス (小林書記官朗讀)

一昨十七日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

旭川市舊土人保護地處分法案 同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提

出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

市街地建築物法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

輸出水産物取締法案

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國

債證券ニ關スル法律案

秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收

ノ爲公債發行ニ關スル法律案

播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ

對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

農會法中改正法律案

大正九年法律第二十號中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

郷又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ

關スル法律案

所得稅法中改正法律案

本日第四部ニ於テ決算委員中川小十郎君ノ

補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果太田清藏君當

選セリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ會議ヲ

開キマス、日程第一、昭和九年度歲入歲出

總豫算追加案第一號、日程第二、昭和九年

度各特別會計歲入歲出豫算追加案第一

號、日程第三、豫算外國庫ノ負擔トナルベ

キ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號、會議委

員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ニス

ルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト

認メマス、柳澤委員長ノ登壇ヲ望ミマス

○伯爵柳澤保惠君 伺ヒマシガ、拓務大臣

ハ出テ居ラレマスカ……居ラレマセヌケ

レバ、出ラレマデ報告イタシマセヌ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 只今政府ニ要

求イタシマス……只今出ラレマシタ

一昭和九年度歲入歲出總豫算追加案(第

一號)

一昭和九年度各特別會計歲入歲出豫算追

追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲

スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總

テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ

ト議決セリ依テ及報告候也

昭和九年三月十七日

委員長 伯爵柳澤 保惠

貴族院議長伯爵近衛文麿殿

(伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル)

○伯爵柳澤保惠君 御報告ヲ致シマス、上

程ノ三案ハ文字通りノ金額ト事項ニ付キマ

シテ、大藏大臣ヨリ其重モナル分ヲ御紹介

ニナツダケデゴザイマス、此三案ハ外地米

移入統制等ニ關スル米穀政策ニ屬スルモノ

デハゴザイマセヌ、全く別ナモノデゴザイ

マス、是ハ昨年ノ産米ニ付キマシテ實施イ

タシテ居リマス、貯藏ヲ九年度ニ繼續ス

ル經費デ、八年度ノ要求額ト同額デハ不足

ナノデアリマシテ、茲ニ増額ヲシタイノデ

ゴザイマス、農林省並拓務省トモ同ジ趣旨

デ、其合計額ハ二千二百餘萬圓ニ上、ポツテ

居リマス、是トテモ矢張り米穀對策ノ一ニ

ハ相違ナイノデゴザイマスガ、近々本院ニ

廻ラムトスル所ノ案トハ全く別案デ、是ハ

別個ノモノトシテ審議シテ差支ナイモノデア

ルノデアリマス、委員會デハ是等ノ問答ガゴ

ザイマシタ後ニ、農林省ノ追加豫算ノ極メテ

貧弱ナルコトニ付テ非難ガ出マシタ、當局ガ

申サレルノニハ、是ハ決シテ是デ満足シテ居ル

モノデハナイ、併シ此度ハ先ヅ事情已ムヲ

得ザル分ノミノ計上デアル、今後ノ農村問題

ニ付テモ澤山考究スルコトガアル、又時局

匡救ノ事業費ガ昨年ノ半額以下ニナツテ居

ルコトハ、是モ他ノ豫算トノ均衡上已ムヲ

得ナイ結果デアルト述ベラレマシテ、尙ホ

苦シイ算段ヲサレマシテ、少々ツツ必要ナ

ル事業ニ向ケタコトヲ申サレマシタ、尙ホ

町村及農林漁業諸團體ノ活動促進費及農村

中堅人物養成ニ付テノ問答ガゴザイマシタ、

御承知ノ如ク豫算委員會デハ、何事デモ

質問ガ出來ル習慣ニナツテ居リマスノデ、豫

算ニ直接關係ナキ事デモ發言シテ差支ナイ

ノデアリマスノデ、ソレデ海外發展策ノ一

案ト致シマシテ、移住獎勵ノ極メテ緊要ナ

ル事、又移住ノ先鞭者ニ對スル表彰方法ニ

付テ御質問ガゴザイマシタ、之ニ付キマシ

テ外務、拓務ノ兩方面ニ於キマシテモ極メ

テ御同感デ、ソレハ十分考慮スルト云フ御

返事デアリマシタ、採決ニ入りマシテ、滿

場一致ヲ以テ可決セラレマシタ、何卒委員

長報告通り御賛成ヲ願フテ置キマス

○男爵阪谷芳郎君 質問イタシテ宜シウゴ

ザイマスカ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイ

マス

(男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ昭和七年六月、

第六十二議會及昭和八年三月、第六十四議

會ノ兩度、政府ノ財政計畫ノ無謀、不深切

ナルコトニ付テ、内閣諸公ニ對シテ苦言ヲ

呈シタノデアリマス、七年ノ六月ニハ、本

員ノ質問ニ對シテ齋藤首相ヨリ稍、満足ノ

答辯ガアッタニモ拘ラズ、其後財政ノ當局者

ハ、財政計畫ノ立直シニ付テハ、十分ノ考

慮盡力ヲ示サレズ、所謂遣リ放シノ方針ヲ

執リ居ラレルノハ如何ニモ遺憾ニシテ、

國家將來ノ患ヒ是ヨリ大ナルハナシト思フ

ノデアリマス、併シ本員ハ現内閣諸公ニ對

シテ、此上更ニ苦言ヲ繰返スノ勇氣ヲ持タ

ヌノデアリマス、モウソレ故ニ前年ノ質問

ノ繼續ハ致シマセヌ、唯一言伺フテ置キタイ

ノハ米穀法ノ始末デアリマス、是ハ餘リニ

無責任デアルガ故ニ、本員ハ昭和四年三月

山本農林大臣ニ質問イタシ、更ニ昨八年三

月後藤農林大臣ニ質問イタシマシテ、其反

省ヲ求メタノデアリマスガ、之ニ關シテ後

藤農林大臣ハ、整理方法ニ付テ頗ル苦心シ、

同感ノ意ヲ示サレタノデアリマス、今度ノ

豫算ニハ其整理ガ見エテ居ラズ、之ニ加フ

ルニ更ニ外地米買上ノ爲メ、買入資金ハ十

一億圓ニ擴張セラレルト云フコトデアリマ

ス、ソレニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、

昨年三月末ニ御尋ネ致シマシタ時ノ損失ハ

一億八千萬圓デアッタ、其後今日マデニ幾何

ノ損失ガ生ジテ居リマスカ、合計幾ラニナ

テ居ルカ、又今度ノ豫算ヲ加ヘ、只今委員

長ノ報告デハマダ其豫算ガ廻ッテ居ラヌト

云フコトデアリマスガ、衆議院ニアル所ノ

追加豫算ヲ加ヘテ、九年度ニ於テ新ニ生ズ

ル損失ハ幾何ニナルノデアルカ、一億八千

萬圓ノ外ニ、昨年中ニドノ位損失ガ増シタ、

更ニ九年ノ損失ヲ加ヘレバソレガ幾ラニナ

ルカ、又斯ク年々國庫ニ莫大ノ損失ヲ生ズ

ルニ付テハ、其補填ノ手段ハ何ニ依ッテ求

メラレルノデアルカ、若シ補填ヲ一般會計

ニ求メラレルモノトスレバ、其補填ノ財源

ハ何ニ求メラレルノデアルカ、御見込ヲ承

ナル國庫ノ損失ヲ生ジテ、非常ニ財政上ノ禍ヒヲナスモノデアラウト思フ、ソレデ若シ此米穀豫算ノコトガ早ク分クナラバ、殆ド陸海軍ノ今度ノ擴張豫算ノ如キモ、或ハ考慮シタカモ知レナイ、併ナガラ此米穀ノ損失ノコトガ、マダ現ハレテ居ラナカッタガ爲ニ、國防豫算ハ先ツ無事ニ通過シタノデアリマスガ、併ナガラ今後斯ノ如キ損失ヲ其儘ニシテ置クナラバ、遂ニ我ガ計畫シタ所ノ豫算ヲ實行スルコトガ出来ヌヤウニナリハシナイカ、ソレデ其計畫ヲドウナサルノカト云フコトヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、計畫ガ無イト云ハレルナラバ甚ダ無責任ト私ハ思フ、苟モ一國ノ大臣ガ、國家ノ重大問題ニ付テ考ヲ持タヌノナラ其職ヲ罷メルノ外ナイ、デ考ヘハナイ、困ル、オ前途考ヘロト云フヤウナ御答辯ハ私ハ願ハナイノデアリマシテ、ドウナサルノカト云フ、凡ソノ抱負ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 後藤農林大臣(國務大臣後藤文夫君演壇ニ登ル)

○國務大臣(後藤文夫君) 阪谷男爵ノ只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、米穀需給特別會計ノ狀態ニ付テ昨年御質問ノアリマシタ時ニ、此特別會計ノ上デ損失ト云フ形デ現ハレテ居ル數字ハ、時期ヲ見テ整理ヲシテ参リタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルト云フコトハ申上ゲタノデアリマス、併ナガラ是ハ一般財政ノ關係ト見合セテ考ヘナケレバナラスコトデアリマシテ、直ニ之ガ整理ヲスルト云フコトニ、今年度ノ、昭和九年度ノ豫算ヲ立テル時ニハ相成ラナカッタノデアリマス、其當時一億七八千萬圓ノ損失ト云フ形ノ數字ガ現ハレテ居ル、其後更ニドウ

ナツカト云フコトデアリマスガ、是ハ其後一年間、政府ノ所持米、其他ノ關係カラ約二千萬乃至三千万圓、今ハハッキリシタ數字ヲ此處ニ持チマセヌノデ、ハッキリハ申上ゲ兼ネマスルガ、二千數百萬圓ノ經費ノ支出ガアツタ爲ニ、欠損ノ増加ヲ見テ居ルト思ヒマス、デ約二億圓バカリガ、昨年ノ端境期ニナリマスマデノ政府特別會計ノ損失ノ數字デアツタヤウニ思ッテ居リマス、其後今度、昭和九年ヲ經過スル時ニ、一體ドノ位ノ欠損ヲ生ズルデアラウカ、是ハ昭和九年度ノ經過ヲ見ナケレバ明白ニハ申上ゲ兼ネマスガ、唯御承知ノ如ク昭和九年度ニ於キマシテハ、昭和八年、即チ昨年ノ米ノ産額ガ、未曾有ノ大豊作デアリマシテ、統制法ノ運用ニ依ッテ、政府ハ約九百萬石ノ公定價格ニ依ル米ノ買入ヲ實行シタヤウナコトニ相成ッテ居リマス、此米ノ處理方法ニ付テモ、政府ハ銳意考究ハ致シマスルケレドモ、急速ニ之ガ處理ヲシテ、欠損ノナイヤウナ状態ヲ始末ラシ、而モ我國ノ米穀需給ノ調節、米價ノ安定ト云フコトヲ妨ゲナイヤウニ處理スルト云フ譯ニハ無論参リマスマイカラ、從テ此處理ガ左様急速ニ進ムコトハ困難デアルト思ヒマス、從テ此米ヲ一部分ノ處理ハ合理的ニ出來マシテモ、他ノ部分ヲ此端境期マデ持越シテ行クト云フコトハ想像サレルノデアリマス、ソレカラ生ズル金利、倉敷、或ハ格下ゲト云フヤウナモノノ損失ガ増加シテ參ルコトト思ヒマス、此推算ハ今日正確ナ數字ヲ以テ申上ゲ兼ネマサルケレドモ、矢張り或ハ四五千萬圓ヲ超ユルコトニ相成ルカモ知レヌト思ヒマス、斯様ナ事態デ、米穀需給特別會計ガ漸次過剩米ノ壓迫ノ爲ニ會計ノ上ニ於ケル欠損ト云フ

形ノ數字ヲ、増シテ行キツアルト云フコトハ事實デアリマス、是ハ阪谷男爵ノ御言葉ノ通りデアリマス、併ナガラ今年ノヤウナ大豊作ニ當リマシテ、米價ガ今日ノヤウナ事態ニ安定サレテ、幸ニ農村ニ對シテ衝撃ヲ與ヘズニ居リマス事態ヲ考ヘマスト云フト、是等ノ支出ガ、結局國家ガ負擔スルコトニナリマスコトモ、事態或ハ已ムヲ得ナイノデハナイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ國家ノ負擔ヲ出來ル限リ少イ程度ニ止メテ、而モ所期ノ效果ヲ擧ゲルト云フコトハ、我ガ銳意今日努力ヲ致シテ居ル所デゴザイマス、デ此欠損ヲ他日ドウ云フ具合ニ始末ヲスルカト云フコトニ付テハ、是ハ財務當局トモ先年來相談ヲ致シテ考究ヲ重ネテ居リマス所デ、相當ノ時機ヲ見テ、適當ナ方法デ整理ヲ致サナケレバナラスト云フコトハ考ヘテ居リマスルケレドモ、今日國家財政ノ狀態、公債發行ノ事情等カラ考ヘマシテ、今直ニ之ガ整理ノ計畫ヲ立テルト云フ譯ニ行カナイ状態ニアルコトヲ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○男爵阪谷男爵 甚ダ不満足ナ御答辯デ、本員ハ此事ニ付テモウ數年來聽イテ居ルノデアリマス、如何ニモドウモ政府ニ於テ深切方足リナイヤウニ思ヒマス、無論此米穀ノ價ヲ安定シテ、農民モ満足スルト云フコトハ必要ダト思ヒマスガ、併ナガラ肝心ノ財政計畫ト云フコトヲ打遣リ放シニシテ置クト云フコトハ、甚ダ國務大臣トシテ御不深切ナ御考ト思フ、其國家ノ財政ヲ健全ニシテ置ケバ、農民モ安心シテ此米穀法ヲ信賴スル譯デアアル、デ甚ダ不満足ナ御答辯デアリマスガ致方アリマセヌ、是デ打切リマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 他ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ採決ヲ致シマス、三案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長報告通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四、輸出水産物取締法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、織田政務次官

輸出水産物取締法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月十七日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿
輸出水産物取締法案
第一條 輸出水産物ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ指定スル検査ニ合格シタルモノニ非ザレバ之ヲ輸出スルコト

(保税地域ヨリ外國ニ向ケ搬出スルコトヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ輸出水産物ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第二條 主務大臣ハ輸出水産物ノ資源ノ保護涵養又ハ聲價ノ維持向上ヲ圖ル爲メ輸出水産物ノ製造、加工又ハ處理ノ設備、方法、使用原料又ハ材料其ノ他輸出水産物ノ製造、加工又ハ處理ニ關スル事項ニ付取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第三條 輸出水產物ノ製造、加工又ハ處理ヲ業トセントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ前項ノ輸出水產物ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者許可ヲ受ケタル日ヨリ二年以内ニ事業ヲ開始セザルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第五條 第三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限スルコトヲ得

第六條 主務大臣ハ輸出水產物ニ關スル水産組合又ハ水産組合聯合會ニ對シ輸出水產物ノ統制上必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

第七條 主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ輸出水產物ノ製造、加工、處理又ハ輸出ヲ業トスル者ニ對シ輸出水產物ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限スルコトヲ得

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 本法ノ適用ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸出ノ目的ヲ以テ爲ス輸出水產物ノ移出ハ之ヲ輸出ト看做ス

第十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

取締法案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、水産業ハ我國重要産業ノ一デアリマシテ、殊ニ輸出水產物ハ近時長足ノ發達ヲ遂ゲ、毎年數千萬圓ノ貿易ヲ示シテ居リマス、然ルニ最近我國ノ輸出水產物ノ狀況ヲ見マスルト、其進展ニ伴ヒ關係當業者間ニ於ケル無統制ナル競争ヲ醸成シ、又其結果ヲ傷クル等、種々ナル問題ヲ惹起シ、他面海外諸國ニ於テモ輸入ノ防遏手段ヲ講ズルノ事實著シキモノガアリマシテ、是ガ爲メ動モスレバ多年ニ互リ銳意開拓イタシテ參リマシタ我國輸出水產物ノ、海外ニ於ケル地歩ヲ危クセラルルノ虞ガ少クアリマセヌ、而シテ現在是等輸出水產物ノ無統制ナル狀態ヲ矯メ、之ヲ取締リ統制スベキ制度ニ付キマシテハ、唯僅ニ極メテ局部的ノ事柄ニ付キ、漁業法ニ基ク所ノ取締ガアリマスル外ハ、大體水産組合、水産組合聯合會、關係業者ノ團體ノ自治ノ措置ニ委ネルノ狀態デアリマスル、從テ速ニ是ガ十分ナル取締、統制ヲ施シ得ベキ制度ヲ樹立イタシ、之ニ依リソレゾレ必要ナル方策ヲ講ジマスルコトハ、我國輸出水產物ノ現狀ニ鑑ミ、極メテ緊要ナル事項デアリマス、本案ハ之ニ依リ輸出水產物中主要ナルモノニ付テハ、其輸出ニ當ツテ一定ノ検査ヲ受ケシメ、以テ製品ノ改善統一ヲ圖リ、又我國輸出水產物ノ品質ヲ維持向上セシメ、又水産資源涵養上ニ遺憾ナキコトヲ期シマスルガ爲ニハ、輸出水產物ノ製造、加工、處理ニ付キ其設備方法等ノ取締ヲ爲シ、又場合ニ依リ輸出水產物ノ製造、加工、處理ノ事業ヲ許可制度トナシ、監督取締ヲ加ヘルコトトシ、尙ホ必要ニ應ジテハ輸出水產物ニ關係アル水産組合又ハ其聯合會並ニ關係當業者ニ對シ、統

第二條 輸出水產物ノ製造、加工又ハ處理ヲ業トセントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ前項ノ輸出水產物ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 輸出水產物ノ製造、加工又ハ處理ヲ業トセントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ前項ノ輸出水產物ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者許可ヲ受ケタル日ヨリ二年以内ニ事業ヲ開始セザルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第五條 第三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限スルコトヲ得

第六條 主務大臣ハ輸出水產物ニ關スル水産組合又ハ水産組合聯合會ニ對シ輸出水產物ノ統制上必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

制上ノ命令ヲ爲シ得ルコト致シマス制度ヲ設ケムトスルモデアリマス、速ニ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵小畑大太郎君 私人水産業法ニ付テ主管大臣ニ質問イタシマスガ、主管大臣ノ御都合ハ如何デゴザイマセウカ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 只今他ノ委員會ニ出席スル爲ニ退席ヲ致サレマシタノデアリマス、御要求ナラバ政府委員ニ申シテ、大臣ノ出席ヲ求メマスガ如何デアリマスカ

○男爵小畑大太郎君 御都合ガ悪ケレバ他日デモ宜シウゴザイマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 都合ニ依リマシテ、成ルベクナラ他日ニ願ツクナラバ如何カト存ジマスガ……

○男爵小畑大太郎君 左様イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 左様イタシマス、本案ノ委員ノ御付託ヲ申上ゲマス、本案ハ之ヲ地方財政補整交付金法案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第五、地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、大藏大臣

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月十七日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ五分利附國

債證券ヲ交付スル場合ニ於テ當分ノ内政府ハ其ノ國債證券ノ額面金額ヲ時價ニ依リ換算シタル金額ト同一額ヲ時價ニ依リ換算シタル五分未滿ノ利附國債證券ヲ以テ交付スルコトヲ得但シ二十五圓未滿ノ端數ハ之ヲ額面金額二十五圓トス

前項ノ國債證券ノ時價ハ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリマシタ地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案、提出ノ理由ヲ説明イタシマス、近時金融ガ著シク緩和イタシテ、一般市場金利ノ低下ノ趨勢顯著ナルモノガアリマシテ、客年九月以降發行イタシマシタ新規國債ノ利率ハ四歩ニ引下ゲラレタ次第デアリマス、右ノ趨勢ニ鑑ミマ

スル時ハ、地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ノ利率モ亦之ヲ引下ゲテ、同時期ニ發行セラルル他ノ國債ト同様ノ利率ト爲スノ必要ガアリト認メマス、右ノデアリマス、依テ之ニ關スル法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ハ之ヲ地租法中改正法律案外四件ノ特別委員ニ付託ヲ致シマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第六、秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、日程第七、播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第六、秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、日程第七、播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第六、秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、日程第七、播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行

ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ二案ハ、之ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議ゴザイマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、三土鐵道大臣

秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月十七日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿

秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

政府ハ左ノ鐵道買收ノ爲之ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

一 秋田鐵道株式會社所屬鐵道
一 佐久鐵道株式會社所屬鐵道
一 新宮鐵道株式會社所屬鐵道
一 籓上鐵道株式會社所屬鐵道

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月十七日

衆議院議長 秋田 清
貴族院議長公爵近衛文麿殿

播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

政府ハ播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲之ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○國務大臣(三土忠造君) 提案ノ理由ヲ申上ゲマス、今回提案イタシマシタ法律案ハ、地方鐵道ノ買收ノ爲メ公債發行ニ關スルモノデアリマス、而シテ買收セムトスル鐵道ハ、秋田鐵道、佐久鐵道、新宮鐵道及籓上鐵道ノ四鐵道デアリマシテ、此中新宮鐵道ハ省線ノ建設工事ノ進捗上、買收ノ必要トスルモノデアリマス、秋田、佐久、籓上ノ三鐵道ハ國有鐵道新線ノ開業ニ伴ヒマシテ、運輸ノ系絡ヲ整備スル爲メ之ヲ買收セムトスルモノデアリマス、次ニ播電鐵道ノ提案ノ理由ヲ申上ゲマス、今回提案イタシマシタ法律案ハ、播電鐵道株式會社所屬鐵道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲メ公債發行ニ關スルモノデアリマス、播電鐵道ハ兵庫縣ノ新宮町ト網干港間ニアル地方鐵道デアリマス、國有鐵道姫津線方之ニ接近並行シテ敷設セラレマシタ結果トシテ、其影響ヲ受ケマシテ、營業ヲ繼續スルコトガ出來ナクナツタノデアリマシテ、其經營廢止ニ依ツテ生ズル損失ヲ補償セムトスル次第デアリマス、何卒兩案トモ御協賛下サラムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ボリマシタ日程第六、第七ノ兩案ハ五ニ關聯スル所ガアリマス、故ニ、鐵道敷設法中改正法律

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ボリマシタ日程第六、第七ノ兩案ハ五ニ關聯スル所ガアリマス、故ニ、鐵道敷設法中改正法律

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ボリマシタ日程第六、第七ノ兩案ハ五ニ關聯スル所ガアリマス、故ニ、鐵道敷設法中改正法律

案ノ特別委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○副議長(伯爵松平賴壽君) 池田子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、左様イタシマスト只今ノ委員ハ、池田子爵ノ動議ノ通りニナリマシタ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第八、農會法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、織田政務次官

農會法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月十七日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長 公爵近衛文麿殿

(小字及一ハ衆議院ノ修正ナリ)

農會法中改正法律案

農會法中左ノ通改正ス

第九條第一項中「又ハ島司ヲ置キタル島嶼」ヲ削リ同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

町村、市又ハ府縣ノ廢置分合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外第一項ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル農會ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

第十三條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ヲ設立セントスルトキハ其ノ農會ノ會員タルベキ農會ノ會長創立委員ト爲ル但シ道府縣農會ヲ設立スル場合ニ於テ郡農會ノ會員ニ非ザル町村農會ノ會長ニシテ創立委員ト爲ルベキモノノ

選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十四條 町村農會及市農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ、其ノ他ノ農會ノ創立總會ニ於テハ其ノ創立委員ノ中ヨリ其ノ役員ト爲ルベキ者ヲ選任スベシ

第二十七條第二項但書及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 町村農會及市農會ニ總代會ヲ、其ノ他ノ農會ニ總會ヲ置ク

總代會ハ總代ヲ以テ、總會ハ郡農會ニ在リテハ議員、其ノ他ノ農會ニ在リテハ議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十七條ノ二 町村農會及市農會ノ會員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員中ヨリ總代ヲ選舉スベシ

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ總代タルコトヲ得ズ

一 禁治産者又ハ準禁治産者

二 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者

三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

總代ノ任期ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農會ノ事業年度ニ從ヒ四年以内トス

第十七條ノ三 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ノ議員ハ其ノ農會ノ會員タル農會ノ會長ヲ以テ之ニ充ツ但シ郡農會ノ會員ニ非ザル町村農會ノ會長ニシテ道府縣農會ノ議員ニ充ツベキモノノ選出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十八條 郡農會、道府縣農會又ハ帝國農會ニ豫備議員ヲ置キ其ノ會員タル農會ノ副會長ヲ以テ之ニ充ツ前條但書ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

豫備議員ハ議員事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

第十九條第一項中「郡農會」、ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

第十七條ノ二第三項ノ規定ハ特別議員ニ之ヲ準用ス

特別議員ハ役員ノ選任又ハ解任ノ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

第二十條第一項中「總會」ヲ「總代會又ハ總會」ニ改メ同條同項第七號ヲ左ノ如ク改ム

七 役員ノ解任

第二十一條中「總會」ヲ「總代會又ハ總會」ニ、同條第四項中「會員」ヲ「總代」ニ改ム

第二十二條中「總會」ヲ「總代會又ハ總會」ニ改ム

第二十二條ノ二 總代會又ハ總會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ第三十

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ザル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ出席者中ニ算入セズ

第二十三條ノ二 議長ハ會議ヲ總理シ其ノ日ノ會議ヲ開閉ス

總代會又ハ總會ヲ組織スル者ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カザルトキハ第二十二條ノ例ニ依ル

前項ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ出席者中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非ザレバ其ノ日ノ會議ヲ閉ヂ又ハ之ヲ中止スルコトヲ得ズ

第二十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

會則ノ變更ハ總代會又ハ總會ニ於テ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第二十二條ノ二但書ノ規定ハ此ノ場合ニハ之ヲ適用セズ

第二十五條中「總會」ヲ「總代會又ハ總會」ニ改メ同條但書ヲ削ル

第二十六條 削除

第二十七條第二項中「會員中ヨリ」ノ下ニ「郡農會ニ在リテハ議員中ヨリ」ヲ加フ

第二十七條ノ二 役員ノ選任ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會又ハ總會ニ於テ之ヲ行フ第二十二條ノ二但書ノ規定ハ此ノ場合ニハ之ヲ適用セズ

第十七條ノ二第二項及第三項ノ規定ハ役員ニ之ヲ準用ス

會長及副會長ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任ノ會長又ハ副會長ノ中一人就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

第二十八條ノ二 會長ノ職務ヲ行フ者ナ

キトキハ行政官廳ハ會員又ハ議員若
ハ特別議員ヲ指定シテ會長ノ職務ヲ行
ハシムルコトヲ得

第二十九條中「總會」ヲ「總代會又ハ總會」
ニ改ム

第三十四條 行政官廳ハ農會ノ決議若ハ
選舉又ハ役員ノ行為ガ法令若ハ會則ニ
違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞
アリト認ムルトキハ決議、選舉若ハ當
選ヲ取消シ、役員若ハ特別議員ヲ解任
シ、議員若ハ豫備議員ノ職務ヲ停止シ、
總代ノ改選ヲ命ジ、農會ノ事業ヲ停
止シ又ハ農會ノ解散ヲ命ズルコトヲ
得

第三十五條第一項中「解散又ハ合併ヲ爲
サムトスルトキハ」ノ下ニ「總代會又ハ總
會ノ議決ヲ經且」ヲ、同條第二項中「前項
ノ規定ニ準スル」ノ下ニ「議決及」ヲ加ヘ
同條第三項中「第十七條第四項」ヲ「第二
十四條第一項」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ
加フ

町村、市又ハ府縣ノ廢置分合其ノ他命
令ヲ以テ定ムル場合ニ於ケル農會ノ合
併又ハ分割ニ付テハ第一項又ハ第二項
ノ規定ニ依ル同意ハ之ヲ要セズ

第三十八條第一項中「總會」ヲ「總代會又
ハ總會」ニ改ム

第四十一條中「郡トアルハ」ノ下ニ「從前
ノ島村ヲ置キタル島嶼ニ在リテハ其ノ島
嶼ノ區域」ヲ加ヘ同條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ島嶼ノ區域ヲ地區トスル農會ノ
名稱ニハ第十條第一項ノ規定ニ拘ラズ
郡農會ナル文字ヲ用ヒザルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ

官報號外

昭和九年三月二十日

貴族院議事速記第二十九號

大正九年法律第十二號中改正法律案 第一讀會

之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ總會ヲ置ク町村農會及
市農會ハ當分ノ内第十七條第一項ノ改正
規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ仍從
前ノ例ニ依リ總會ヲ置クコトヲ得
前項ノ農會ガ總代會ヲ置ク場合ニ於ケル
會則ノ變更ニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ
定ヲ爲スコトヲ得

〔政府委員子爵織田信恒君演壇ニ登ル〕

○政府委員(子爵織田信恒君) 農會法中改
正法律案ノ提出ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、
我國農業ノ發達ハ、政府ノ指導ト共ニ民間諸
團體ノ努力ニ俟ツ所頗ル大ナルモノガアル
ノデアリマスルガ、是等農業諸團體ノ中デ
モ普遍的、綜合的團體トシテ最モ有力ナモ
ノハ農會デアリマス、從テ之ニ對シテハ政
府ハ各種ノ助長策ヲ講ジマス同時ニ、農
會法令ノ規定ニ依リ之ヲ規律シ、其活動ノ
圓滑ヲ圖ツテ來タノデアリマス、農會ハ法律
制定ノ趣旨ニ鑑ミ、又農村ノ情況ニ鑑ミマ
シテ官廳ノ施設ト相呼應シ、我國農業ノ改
良發達ヲ圖ル爲メ機關トシテ、又農民ノ利
益代表機關トシテ活躍シテ居リマス、殊ニ
現下農村不況ニ際シ、之ガ經濟更生活活動
上、農業ノ綜合的指導機關トシテ一層其力
ヲ致シ、以テ成果ヲ收ムベク努力イタシテ
居ル次第デアリマス、現行農會法ハ實施以
來既ニ十餘年ヲ閱シ、農村事情ノ推移、變
遷ニ伴ヒ、農會ノ活動上不便又ハ不適當ト
認メラレレルニ至ツタ點ガ尠クアリマセヌノ
デ、之ニ關スル法令ヲ改正シ、以テ農會ノ
活動ニ遺憾ナカラシメタイト考ヘル次第デ
アリマス、而シテ本法改正ノ骨子ト致シマ
ス所ハ、第一ハ市町村農會ノ總會ヲ廢止シ
テ、總テ總代會ヲ置カシムルコトト致シタ

點デアリマス、第二ガ郡農會ノ特別議員ヲ
廢止シタ點デアリマス、第三ガ帝國農會、
道府縣農會及郡農會ノ議員、豫備議員ハソ
レゾレ所屬農會ノ會長、副會長ヲ以テ之ニ
充ツルコトト致シタノデアリマス、第四ガ
農會ノ會議及選舉ニ關スル規定ヲ整備イタ
シ、第五ガ農會ノ合併分割ノ手續ヲ確實且
ツ簡易ニシタ等デアリマス、衆議院ニ於キ
マシテハ上述イタシマシタ第二ノ點ヲ修正
イタシテ、特別議員ハ役員ノ選任又ハ解任
ノ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ザラシメ、其
代リニ郡農會ノ特別議員ハ現在通り之ヲ存
置スルコトニシタノデアリマス、此修正
ハ根本ノ趣旨ニ於テ政府立案ト著シク異ナ
ル所ナキモノト認メラレマスノデ、政府ニ
於テモ之ニ對シ同意ヲ與ヘタノデアリマ
ス、何卒速ニ御審議ノ上御協贊アラムコト
ヲ切望イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ハ之ヲ地
方財政補正交付金法案外一件ノ特別委員ニ
付託イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第九、大
正九年法律第十二號中改正法律案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會、高橋大藏大臣
大正九年法律第十二號中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月十七日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

大正九年法律第十二號中改正法律案
大正九年法律第十二號中左ノ通改正ス
第三條ノ二 法人カ朝鮮、臺灣又ハ樺太
ニ於ケル法令ニ依リ納付シタル第二種

ノ所得ニ對スル所得稅額ニ付テハ所得
稅法第二十一條第二項乃至第四項ノ規
定ヲ準用ス

信託會社カ其ノ引受ケタル貸付信託ノ
信託財產ニ付朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ於ケ
ル法令ニ依リ納付シタル第二種ノ所得
ニ對スル所得稅額ニ付テハ所得稅法第
二十二條第二項及第三項ノ規定ヲ準用
ス

第四條、第五條及第六條中「臺灣又ハ樺
太」ヲ「朝鮮、臺灣又ハ樺太」ニ改ム

第八條 相續稅法施行地ヨリ朝鮮ニ住所
又ハ船籍ヲ轉シタルモノニ付テハ相續
稅法第二條第四項ノ規定ヲ適用セズ

第九條 相續稅法第三條第一項ノ規定ニ
依リ課稅價格ヲ定ムル場合ニ於テ控除
スヘキ金額中左ノ金額アルトキハ之ヲ
控除セズ

一 朝鮮ニ在ル財產ニ係ル公課
二 朝鮮ニ在ル財產ヲ目的トスル留置
權、特別ノ先取特權、質權、抵當權
又ハ典當權ヲ以テ擔保セラルル債務
三 朝鮮ニ在ル財產ニ關スル贈與ノ義
務

第十條 朝鮮ニ於ケル法令ニ依リ相續稅
ヲ課セラレタル後五年又ハ七年以内ニ
於テ更ニ相續開始シタルトキハ命令ノ
定ムル所ニ依リ相續稅法ニ依ル相續稅
ノ全部又ハ一部ヲ免除ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第八
條乃至第十條ノ改正規定ハ昭和九年七月
一日ヨリ之ヲ施行ス
第三種ノ所得ニ付テハ昭和九年分所得稅
ヨリ本法ヲ適用ス

三七七

昭和九年七月一日前開始シタル相續ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル
明治四十一年法律第三十七號第三條第四項中「所得稅法第二十一條第二項」ノ下ニ「若ハ第四項又ハ大正九年法律第十二號第三條ノ二第二項」ヲ加フ

參照

大正九年法律第十二號ハ所得稅法ノ施行ニ關スル法律ナリ
〔國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリ

マシタ大正九年法律第十二號中改正法律案ニ付キマシテ、大體ノ要旨ヲ説明イタシマス、大正九年法律第十二號ハ御承知ノ通り内地朝鮮、臺灣、樺太及關東州トノ間ニ於キマスル、所得稅課稅上ノ聯絡ヲ計ル目的ヲ以テ制定セラレマシタ法律デアリマスガ、今回朝鮮ニ於キマスル所得稅ノ改正並ニ相續稅ノ創設セラルルニ伴ヒマシテ、同法律中改正ヲ要スルモノヲ生ジタ次第デアリマス、即チ朝鮮ニ於キマシテハ今回所得稅令ヲ改正イタシマシテ、從來ノ法人ニ對スル課稅ヲ第一種ト爲シ、新ニ公債、社債、銀行預金等ノ利子ニ第二種ノ所得稅ヲ課シ、個人ノ所得ニ第三種ノ所得稅ヲ課スルコトニナリマスノデ、之ヲ聯絡ヲ圖ル爲メ同法律ニ適當ナル改正ヲ加フルコトニ致シマシタノデアリマス、次ニ朝鮮ニ於キマシテハ、未ダ相續稅制定ノ實施ヲ見ルニ至リマセヌデシタガ、今回新ニ之ヲ創設セラルル運ビト相成リマス爲ニ、内地ノ相續稅ト聯絡ヲ執ル必要ガアリマスノデ、新ニ相續稅ニ關スル交渉規定ヲ同法律ニ追加スルコトニ致シタ次第デアリマス、以上ハ大體ノ

説明デアリマスルガ、其細目ノ點ニ付キマシテハ、他ノ機會ニ於キマシテ詳細説明申上ゲタイト考ヘマス、何卒御審議ノ上速ニ御協贊アラムコトヲ望ミマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ハ之ヲ地租法中改正法律案外五件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十、朝鮮事業公債法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、高橋大藏大臣

朝鮮事業公債法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月十七日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿
朝鮮事業公債法中改正法律案
朝鮮事業公債法中左ノ通改正ス
第一條中「六億三百七十萬圓」ヲ「六億六百萬圓」ニ改ム
附則
本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリマシタ朝鮮事業公債法中改正法律案、提出ノ理由ヲ説明イタシマス、昭和九年度朝鮮總督府特別會計ニ於ケル鐵道建設及改良費ノ追加額、砂防事業費、鹽田築造費、北鮮開拓事業費等ノ總額四百九十五萬餘圓ト、土木費ノ中七百五十八萬餘圓トノ合計額一千二百五十餘萬圓餘ハ、同特別會計ノ歲計ノ現狀ニ徴シマシテ、之ガ財源ハ公債ニ依ルノ外アリマセヌ、而シテ現行朝鮮事業公債法ニ於ケル起債法定額ノ餘力ハ一千八

萬餘圓デアリマスノデ、差引不足額二百五十萬圓ヲ現行法定額ニ追加スルノ必要ガアリマス、之ガ爲メ本法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ハ之ヲ臺灣事業公債法中改正法律案外一件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十一、臺灣事業公債法中改正法律案、日程第十二、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、是等ノ二案ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、委員長ノ登壇ヲ促シマス、新庄子爵

臺灣事業公債法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和九年三月十六日
委員長 子爵新庄 直知
貴族院議長公爵近衛文麿殿

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和九年三月十六日
委員長 子爵新庄 直知
貴族院議長公爵近衛文麿殿

○子爵新庄直知君 只今議題トナリマシタ臺灣事業公債法中改正法律案外一件ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマ

ス、臺灣事業公債法中改正法律案ハ、臺灣ニ於ケル樟腦ノ事業ニ關シマシテ、臺灣製腦株式會社ガ只今マデ再製樟腦並ニ樟腦油ノ製造ニ從事シテ居リマシタノヲ、今回總督府ガ官營トシテ、其會社ニ公債ヲ交付スル爲ニ、只今マデ一億五千二百萬圓デアリマシタモノヲ、一億五千四百萬圓ニ増額スル案デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテノ重モナル質問ハ、臺灣ニ於キマシテハ民間ノ事業ガ非常ニ少イノニ、別段會社ヲ今救済スル必要モナイノニ對シテ、能ク官營ニスル必要モナカラウト云フ御質問ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府ニ於キマシテハ、樟樹ノ植林及再製樟腦ノ事業ハ官營デヤツテ居ルノニ、中間ノ事業ハカリヲ民間デヤツテ居ルノハ、此頃人造樟腦ノ發達ニ伴ッテ時價ガ非常ニ變化ノ多イ時ニ當ッテハ、總テヲ官營ニシテ産業ノ合理化ヲ圖リ、又價格ノ低下ヲナス爲ニ、總テ官業トスルト云フ御答デアリマシタ、尙ホモウ一ツノ御質問ハ、人造樟腦ガ次第ニ發達スルノハ、丁度人絹ガ今日發達シテ、天然絹絲ヲ壓倒スルヤウニナリハシナイカト云フ御心配ノ御質問ニ對シマシテ、臺灣ニ於キマシテハ年五百萬斤ヨリ以上ハ生産ガ出來ナイノデ、世界ノ需要ガ殖エルニ從ッテ増額スルコトハ、永續的ニハ出來ナイト云フ御答辯デアリマシタ、尙ホ人造樟腦ニ對シ研究ヲ進メテ居ルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、人造樟腦ノ學術的ノ研究ハ最早濟ンダモノデ、「ターペンタイン」ハ「日本ノターペンタイン」ハ樟腦ノ原料トナルベキモノガ少イ爲ニ、日本ノ「ターペンタイン」ハ此用ニ供スルコトハ出來ナイト云フ御答辯デアリマシテ、進ンデ御研究ヲナサツテ居ルヤウナ御答辯ハ

ゴザイマセヌ、次ニ臺灣ノ官設鐵道用品資
金會計法中改正法律案ニ對シマシテハ、御
報告申上ケルダケノ質問モゴザイマセ
ヌ、次ニ討論ニ入りマシテ、何等反對ノ意
見モナク、採決ノ結果、全會一致可決イ
クシマシタ、此段御報告イタシマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケ
レバ、二案採決ヲ致シマス、二案ノ第二讀
會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 二案ノ第二讀
會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問
題ニ供シマス、二案全部委員長ノ報告通り
デ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 二案ノ第三讀
會ヲ開キマス、二案全部、第二讀會ノ決議
通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十三、
製鐵所特別會計法廢止法律案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、
徳川頼貞君ノ御登壇ヲ望ミマス

製鐵所特別會計法廢止法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和九年三月十二日
委員長 侯爵徳川 頼貞

貴族院議長公爵近衛文麿殿
〔侯爵徳川頼貞君演壇ニ登ル〕

○侯爵徳川頼貞君 只今議題ニ相成リマシ
タ製鐵所特別會計法廢止法律案、特別委員
會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本
委員會ハ前後二回ニ互リマシテ開會イタク
マシタ、第一回ノ委員會ニ於キマシテ、正副
委員長ノ互選ニ引續キマシテ、政府當局ノ
説明ヲ聴取シ、質問順序ヲ進メマシタガ、
本案提出ノ理由タル製鐵合同問題ヲ審議ス
ルノ参考資料ノ必要ヲ感ジマシタノデ、當
局ニ對シ、速ニ提出方ヲ要求シテ解散イ
クシ、第二回ノ委員會ニ於キマシテ、廣範圍
ニ及ビ質疑應答ノ結果、製鐵合同ノ趣旨ニ
副フヤウ監督ヲ嚴ニセラレタイト云フ希望
ガアリ、慎重審議ノ結果、全會一致、可決
ニ相成リマシタコトヲ御報告申上ゲマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御質疑ガナケ
レバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀
會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問
題ニ併シマス、本案全部、委員長ノ報告通
リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀
會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問
題ニ併シマス、本案全部、委員長ノ報告通
リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ
動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀
會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議
通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ガゴザ
イマセヌケレバ、唯今委員長ガ……日程第十
四ノ委員長ガ御見エニナリマセヌカラ、日
程ヲ變更イタクマシテ、第十五、第十六ニ
移リタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十五、
健康保險法中改正法律案、日程第十六、癩
兵院法中改正法律案、政府提出、衆議院送
付、是等ノ二案ヲ一括議題トスルコトニ御
異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト
認メマス、松木委員長ノ御登壇ヲ望ミマス

健康保險法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和九年三月十五日
委員長 伯爵松木 宗隆

貴族院議長公爵近衛文麿殿
〔伯爵松木宗隆君演壇ニ登ル〕

○癩兵院法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和九年三月十五日
委員長 伯爵松木 宗隆

貴族院議長公爵近衛文麿殿
〔伯爵松木宗隆君演壇ニ登ル〕

○伯爵松木宗隆君 只今議題ニ上ボリマシ
タル兩案ニ付キマシテ、之ヲ束ネテ御報告
申上ゲタイト存ジマス、先ヅ健康保險法中
改正法律案ニ付キマシテ申上ゲマス、委員

官報號外 昭和九年三月二十日 貴族院議事速記録第二十九號 議事日程第十二、第十三及第十五、第十六ノ件 日程變更ノ件 三七九

會ハ數回開會イタシ、審議ノ上全會一致ヲ以テ可決ニ相成リマシタコトゴザイマス、依テ經過ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、健康保險法實施サレマシテ茲ニ七箇年、漸次所期ノ效果ヲ擧ゲツツアルサウデアリマス、而シテ現在強制加入ノ者ハ、約二百萬人ニ達シタサウデアリマス、依テ今回更ニ範圍ヲ擴張シテ、任意保險者約二十九萬人ヲ移シテ強制保險加入者ト爲サムトスルノデアリマス、而シテ他面ニ於テ、是迄法規上何等ノ任意保險者ト爲シテ、以テ保險法立法ノ趣意ニ向ツテ漸次擴大強化ヲ圖ラムトスルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、此擴張其モノニ付テハ何等異議ハナカッタノデアリマス、保險法ノ多年實施上ノ成績ニ付テハ幾多ノ問答ガ行ハレタノデアリマス、第一ハ手續上ニ付キ、保險法ノ實施手續ニ於テ、複雑ニシテ多端ナル工業方面ニ於テハ保險其モノヨリモ手續ノ煩瑣ニ苦シムト云フコトデ、色々ノ事例ヲ擧ゲテ政府ノ反省ヲ求メラレタノデアリマス、之ニ對シテ當局ノ御答辯ハ、當局ニ於テモ既ニ氣付イテ居ラレド、例ヘバ保險金ハ之ヲ全國ノ郵便局ニ於テ取扱ハシムルト云フヤウニ改メムトスルノ意嚮デアツテ、出來ルダケ手續ノ簡易化ヲ圖ルト云フ御答辯デアリマシタ、次ハ醫師會ニ付テ一點單價二十錢ト云フヤウナコトニ付テ問答ガアリマシタガ、數字ハ細カク互リマスルカラ、ハ速記録ニ讓リマス、次ハ醫藥分業ニ付キ、何故ニ政府ハ今回ノ改正ヲ好機會トシテ、病ハ醫者ニ、藥ハ藥劑師ニ就カシムベク規定セラレザルノデアルカ、國法ガ明ニ醫藥分業ヲ認メタル以上ハ、分業ニ向ツテ指導的ニ立法アラレネバナラヌト信ズルノデアアル、然ルニ今回ノ改正ニ於テ機會ヲ逸セラシムルコト云フコトハ如何デアアルカト言ツテ、頗ル御所見ニ付テ力説セラレタノデアリマス、而シテ政

府ノ辯明ヲ求メラレマシタ、當局ノ御答辯ハ、今日我國ノ實情ニ於テハ、未ダ其時期ニ非ズト認メラルルノミナラズ、保險法ノ目指ス所ハ被保險者ノ便否如何ニアルコトデアツテ、ソレヲ第一義トシテ考慮シナケレバナラナイノデアアルカラ、ソレニハ今日ノ實情ニ即シテ、患者ヲシテ自由任意ニ何レトモ頼ラシムルト云フコトガ安當デアルト思フ、將來ハ兎ニ角、今日直ニ保險者ニ限ツテ強制ヲ以テ分割ニ向ハシムルト云フコトハ躊躇セザルヲ得ナイト云フ御答辯デアリマシタ、次ハ範圍擴張ニ付キ、諸外國ニ於テハ國民ノ約三割ガ被保險者トナツテ居ルノヲ見マシテモ、我國ガ二百萬人ニ今回更ニ三十萬、三十七萬人ヲ加ヘラレタ所ガ、ソレハ比較ニナラナイノデアツテ、統計ノ示ス所ノ勞務者約一千餘萬人ニ對シテ、政府ハ如何ナル考慮ヲ有セラシムルヤトノ問ニ對シマシテ、政府ハ農業、漁業者、小商人、小額所得者、ソレ等ニ向ツテハ新ナル組織方法ヲ以テ、何等カ計畫ヲ立テネバナラヌト云フコトデ、目下調査研究中デアルト云フ答辯デアリマシタ、討論ニ入り、各委員交ニ贊同ノ意ヲ述ベラレタノデアリマス、一委員ヨリ希望シテ政府イマダニ習慣ニ囚ハレテ、此際醫藥兩制度ノ利用ヲ採用セラレザルコトハ頗ル遺憾トスル所デアツテ、慣習ノ裏ニハ不利アリ、不合理アリテ、其點ハ問答ニ於テ敘説ノ通りデアアルガ故ニ、政府ハ宜シク再考サレテ、將來ニ於テ機會ヲ逸スルコトナク、分業ノ確立ヲ企圖セラレムコトヲ望ムト云フ如キ、熾烈ナル意見ヲ以テ希望トシテ、本案ニ贊成ヲ表サレタノデアリマス、故ニ特ニ此一委員ノ御希望ハ御報告ヲ申上ゲテ置キマス、次ハ癩病法中改正案ニ付キ申上ゲマス、癩病法制定サレマシテ茲ニ二十有八年、今日迄ハ癩癩草人ニ對シマシテハ、自己ノ資産又ハ勞役ニ依ツテ自活シ能ハ

ザル者ニ限り收容ト云フ救貧制度デアリマシタガ、今回ノ改正ニ依ツテ、傷兵ニ對スル觀點ガ一變セラレタノデアリマス、即チ傷兵ハ國ガ特別保護ヲナスト云フ所ノ趣旨ヲ明カニサレタノデアリマス、從テ癩病院ト云フガ如キ名稱ハ名譽アル傷兵ニ對スル適當ナ言葉デナイ憾ミガアリマスルカラ、之ヲ傷兵院ト美化サレタノデアリマス、又附則ニ示サレマシタル方法ニ依ツテ、今回五十萬圓ヲ以テ、現在ノ巢鴨町ヨリ移轉シマシテ、他ニ風土氣候ノ好適地ヲトシ、在院者約百名ノ豫定ヲ以テ病舎ヲ改築シ、慰安ノ設備ヲ整ヘテ、名實共ニ優遇ヲ計畫サレタノデアリマス、去リナガラ此僅カナル在院者百名、全國一箇所ノ傷兵院ト云フ小規模デハ不足ヲ感ズルト云フ御問ニ對シマシテ、當局ノ御答辯ハ、ソレハ軍事救護法ニ依ツテ住宅ニ於テ保護ヲ受タル者ガ多數デアツテ、入院者ハ稼業ノ出來ナイ稀レナル不幸者デアツテ、從來ノ入院者カラ推測ヲシテ見レバ、今日ノトコロ此規模デ不足ナルカベント思ハレルノデアアル、併シ將來時代ノ推移ニ依ツテ増設ヲ必要トスル場合ニハ遺憾ナキヤウ計畫ヲ行フトノ御答辯デアリマシタ、委員會ハ軍國ノ爲メ一身ヲ捧ゲシ忠勇ナル傷兵ニ、國家ガ優遇ノ途ヲ講ゼラレルト云フコトハ當然デアツテ、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ贊成ヲ表サレタノデアリマス、此段御報告申上ゲマス

- 副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
- 副議長(伯爵松平賴壽君) 二案ノ第二讀會ヲ開キマス、二案全部、二讀會ノ決議通り御異議ハゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
- 副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十四、出版法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、一條委員長ノ御登壇ヲ望ミマス
- 出版法中改正法律案
- 右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也
- 昭和九年三月十七日
- 委員長 公爵一條 實孝
- 貴族院議長公爵近衛文麿殿
- 出版法中左ノ通改正ス
- (小字ハ特別委員修正)

第十六條中「曲庇シ」ヲ「煽動シ」若ハ「曲庇シ」ニ改ム
○賞恤スルヲ「賞恤シ」又ハ「刑事裁判中」ニ改ム

第二十六條中「政體ヲ變壞シ」ヲ「皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、政體ヲ變壞シ又ハ」ニ改ム

第二十七條中「風俗ヲ壞亂スル」ヲ「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル」ニ改ム

第三十六條 本法ハ發賣頒布ノ目的ヲ以テ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ音ヲ寫調セラレタルモノニ之ヲ準用ス但シ著作者トアルハ吹込者トス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 出版法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、本委員會ハ去ル十日、正副委員長ノ互選ヲ致シ、引續キ本特別委員會付託ノ三案ニ付キ政府ノ説明ヲ承リ、一昨十七日マデ四日間、主トシテ本法案ニ關シ質疑應答ヲ重ネ、以下申上ゲル結果ト相成リマシタノデアリマス、本案ハ御承知ノ如ク、文字ニ於キマシテハ簡單ナル改正案デアリマスガ、極メテ重大ナル意義ヲ帶ブル法案デアリマシテ、從テ質疑モ多數ノ委員ヨリ澤山ニゴザイマシタノデアリマス、之ヲ綜合イタクシマスレバ、今回ノ改正ハ極メテ一小部分ノ改正ノヤウニ見エラガ、本法ハ何分明治二十六年ノ法律デアリ、時代ノ變遷ニ伴ハヌ點モアリ、且ツ新聞紙法等ト比較ラシテ、刑罰等ノ點ニ於テモ權衡ヲ失スルモノガアルト思フ、今回ノ改正ハ思想對策上、治安維持法ト關聯シテ、緊急已ムヲ得ザル點ノミ取致ズ修正シタモノデアラウガ、近キ將來根本的ニ改正スルノ意思アリヤ否ヤ、又檢閲其他ノ取締執行機關ニハ遺憾ノ點ガアルト思フガ、法律ヲ改メタケデハ

實際ノ取締ハ出來ルモノデハナイ、法ノ運用ニ其人ヲ得ルコトガ大切デアアル、今回「皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ」、斯ウ云フ文字ガ加ヘラレタガ、一體今日マデ之ヲ不問ニ付セラレタカノヤウナコトハ誠ニ恐懼ノ至リデハナイカ、又折角是等ノ改正ヲシテモ、取締ニ當ル人ガ宜シキヲ得ナケレバ效果ハ十分デアアルマイ、抑、道義ノ標準ガ我國ニ於テハ立ッテ居ルベキデアアルガ、果シテ現在其職ニ在ル者ガ、識見ニ於テソレダケノ素養ガアルカ、「皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ」ト云フコトモ、是ハ概念ノモノデ、何人ガ其解釋ニ當ルカ、又國體變革トカ、皇室ノ尊嚴冒瀆トカト云フモノニ付テ、確カトシタ標準ガ大切ナモノダト思フガ、檢閲實行ニ關シテ非常ニ心配ニ堪ヘナイ、斯様ナ事柄ガ繰返サレタノデアリマス、又此十六條ノ改正デハ、新聞紙法、治安警察法ト歩調ガ合ハヌデハナイカ、之ヲ合セテハドウカ、其他用語ノ點、解釋ノ點等、特ニ國體變革ノコトニ關シ規定ガ無イガ、政體變壞ヨリモ一層重大ナル事柄ガ本法案ニテハ如何ニ取扱ハルカ、又刑法ノ不敬罪ト皇室ノ尊嚴冒瀆トノ關係ハドウデアアルカ等ノ質疑ガアリマシタ、ソレ等ニ對シ、或ハ大臣ヨリ、或ハ政府委員ヨリ一ミ御答ガアッタノデアリマス

ルガ、其中ニハ十分ニ委員ノ満足ヲ得ラレナカッタモノモアツクヤウデアリマス、政府ノ説明及答辯ヲ綜合イタクシマスレバ、本案ハ思想對策上、治安維持法ト密接ナル關係ガ有リ、新聞紙法ト對照シ、改正ヲ必要トスル點ヲ取致ズ改メタモノデ、近キ將來ニ於テ出版法、新聞紙法ヲ通ジテ一貫シタ完全ナモノニ致サウト努力中デアルトノコトデアリマシタ、從テ用語ノ點、刑罰等ノ點モ、不均衡ノ點モ、當局ハ之ヲ認メテ居リマスガ、前申シタヤウナ次第デ何卒諒承アリタシ、又取締ニ付キマシテモ、今回ハ檢閲官其他ノ増員ヲシテ、執行機關ニ付テモ

漸次擴充シテ十分取締ヲシタイト云フコトデアリマシタ、又國體變革ノ出版物ハ國憲紊亂ノ中ニ包含シテ取締ルト云フコト等ノ御答ガアッタノデアリマス、以上ハ極メテ簡單ニ質疑ノ點ヲ申シマシタノデアリマスガ、言葉ガ不十分デ、十分ニ委員ノ質疑ヲ此處ニ御傳ヘスルコトガ出來マセヌノハ遺憾デアリマス、何卒詳細ハ速記録ニ付テ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、討議ニ移リマシテ、一委員ヨリ第十六條中ノ修正意見ガ出マシタ、其意見ハ新聞紙法第二十一條、治安警察法第九條第二項トノ條文ト、此十六條トガ歩調ガ合ハヌカラ合ハシタイ、即チ刑事被告人ヲ陷害スルト云フコトガ、此十六條ニ缺ケテ居ルカラ入レタイ、斯様ニ修正ノ意見ガ出タノデアリマスガ、政府ニ於テモ積極的ニ此修正ニハ反對デナイト云フコトヲ言明サレタノデアリマス、又他ノ委員ヨリハ、二十六條中ニ國憲紊亂カラ政體變壞ト云フモノヲ特ニ引抜イタ以上、ソレヨリモ重ク見ルベキ國體變革ト云フ如キ言葉ヲ特ニ掲グベキダトハ思フガ、翻シテ新聞紙法トノ關係ヲ見ルト、朝憲紊亂ノ中ニ國體變革ト云フモノヲ入レタ方ガ、甚ダ用語ガ拙ハナイヤウデアアルケレドモ、先ヅ統一ガ取レルト思フカラ、只今ノ修正案ニ贊成スル、又一委員ヨリハ、治安維持法ノ關係ヨリシテ、私有財產否認ニ關スル文書ノ如キヲ此處ニ入レタイト思フノデアアルガ、是亦新聞紙法トノ權衡上、本回ノ改正ハ暫定的ノモノト見テ、只今ノ修正案ニ贊成スル、斯様ナ各委員ノ御意見ガアッタノデアリマス、採決ニ入りマシテ、全會一致本修正案ノ通り第十六條ハ可決セラレ、更ニ二十六條、二十七條、三十六條ハ政府ノ提案ノ通り全會一致ヲ以テ可決ト相成リ、修正議決セラレタ譯デアリマス、尙ホ委員會ニ付託セラレテ居リマスル所ノ他ノ二案ニ付キマシテモ、引續キ審議續中デアリマス、以上ヲ以テ報告ヲ終

リマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御質疑ガナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス
○子爵植村家治君 贊成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス
○子爵植村家治君 贊成
○副議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデアリマシタ、呼フ者アリ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十七ヨ

リ第四十九迄各請願、會議、全部一括シテ議題ニ供シマス

意見書案

未成年者飲酒禁止法ノ改正法制定ニ反對ノ件

東京市中野區本町五丁目三十一番地 平民西田一信外一名呈出

東京市麹町區丸ノ内、丸ノ内ビルヂング四百四十七區酒造組合中央會會長黃金井爲造呈出

東京市麹町區丸ノ内、丸ノ内ビルヂング四百四十七區東京府酒造組合聯合會會長小澤太平呈出

東京市麹町區丸ノ内、丸ノ内ビルヂング四百四十七區關東酒造組合聯合會理事長風間久高呈出

山形市八日町酒造業尾原儀助外二千七百四十三名呈出

京都市先斗町三條下ル材木町席貨業大杉みね外六百三十九名呈出

石川縣金澤市日吉町二十番地商上出乙松外八百三十一名呈出

右ノ請願ハ飲酒ハ古來儀禮並慰安上效果アルニ拘ラス單ニ過飲ノ弊害ノミヲ標榜シテ之ヲ禁止セムトシ殊ニ二十歳乃至二十五歳ノ者ニ對シテモ未成年者飲酒禁止法ノ改正法律案ヲ提出セムトスルハ甚遺憾ナルニ依リ同法案ハ之ヲ否決セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

師範學校生徒給費國庫支辨ノ件

群馬縣前橋市群馬縣聯合教育會長金澤正雄呈出

右ノ請願ハ師範學校ノ給費ハ從來地方費支辨ナルカ爲道府縣ニヨリテ支給額ニ相違アリ且地方財政ノ窮迫ニヨリテ近時著シク遞減セラレ殆ト形式ヲ止ムルノミナルカ如キ少額ナルモノアリ斯クテハ給費本來ノ目的ニ反スルヲ以テ師範學校關係法規ヲ改正シ其ノ生徒ノ給費ハ之ヲ國庫ヨリ支辨セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

神奈川縣小田原町水道敷設費補助ノ件

神奈川縣足柄下郡小田原町長中田壽一郎呈出

右ノ請願ハ神奈川縣小田原町營ニ係ル水道ハ既ニ三箇年繼續事業トシテ之カ布設工事ニ著手セルニ拘ラス政府ニ於テハ明年度ヨリ水道補助ノ制度ヲ中止セララルヤニ聞ク斯クテハ町財政ノ關係上到底其完成ヲ期シ能ハサルノミナラス保健衛生上亦遺憾甚シキニ依リ同補助制度ハ之ヲ存續シ以テ同水道ヲ助成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

漁船保險法制定ノ件

東京市赤坂區溜池町三會堂內帝國水産會會長子爵野村益三呈出

右ノ請願ハ漁船ハ漁業者ノ重要財産タルト共ニ漁業生産上有力ナル資本ニ屬スル

ヲ以テ之カ經濟價值ノ安全ヲ確保スルノ一方法トシテ保險制度ノ必要缺クヘカラサルニ拘ラス現今保險機關ヲ利用スルモノナキ實狀ニ在ルハ畢竟現行保險制度ヲ以テシテハ未漁船保險ニ適切ナラサルニ職出スルモノナルニ依リ特殊ノ漁船保險制度ヲ創設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ノ件

岐阜縣大野郡大名田町大字花里百十番地教員伊藤廣七外千九百五十名呈出

右ノ請願ハ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ヲ獨立セシメ其ノ整備充實ヲ圖ルハ農村ノ改善振興上必要ナル優良農業教員ヲ養成スルモノナルニ依リ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

神跡調査ニ關スル件

官崎縣西白杵郡高千穂町大字三田井七百九十一番地公吏神殿勇策外五十四名呈出

右ノ請願ハ官崎縣西白杵郡高千穂ハ天祖發祥ノ靈域ナルニ拘ラス今尙之カ聖地ノ荒廢ニ委スルハ寔ニ遺憾ナルニ依リ速ニ

國費ヲ以テ神跡ノ調査ヲ遂行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

少年團日本聯盟加盟援助ニ關スル件

宮城縣仙臺市木町末無八番地平民小野平八郎呈出

右ノ請願ハ少年團日本聯盟ハ其ノ事業助成ニ關シ曩ニ帝國議會ノ建議アリタルノミナラス亦文部省ノ後援ヲ得テ青少年ノ社會教育上貢獻スル所尠ナラサルニ拘ラス近時當局ノ窳蕩ニ係ル學校中心ノ少年團創設ニ伴ヒ團員並指導者ノ奮取等之カ發達ヲ阻害セララルハ甚遺憾ナルニ依リ同聯盟ノ助長、加盟地方團ノ援助、團員ノ保護、兩團ノ連絡等請願人所案ノ如ク實行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

新潟港ニ家畜傳染病檢疫所設置ノ件

新潟市新潟商工會議所會頭白勢量作外二名呈出

右ノ請願ハ新潟港ニ家畜傳染病檢疫所ヲ

設置スルハ同港商域内ニ於ケル北鮮地方ヨリノ移入牛多キノミナラス北鮮諸港間ニ定期航路ノ開設ヲ見タル同港ノ使命ニ鑑ミ益緊要ノ對策ナルニ拘ラス日本海沿岸ニ於ケル力ノ檢疫所ハ僅ニ福井縣敦賀港ニ存スルノミニシテ當業者ノ不利不便尠カラサルニ依リ速ニ之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

私立中等學校ニ對シ低利資金融通ノ件
東京市牛込區市谷藥王寺町三十七番
地私立成城中學校校長伯爵兒玉秀雄外
六百二十六名呈出

右ノ請願ハ私立中等學校ハ其ノ收入概ネ經常費ヲ支フルニ止マリ校舍増改築ノ如キ臨時費ハ到底捻出ニ由ナク從テ教員ノ優遇並授業上ノ施設等其ノ所要改善ノ進捗セサルハ偏ヘニ財政上ノ結果ニ外ナラス然ルニ當局ニ於テ未何等ノ助成策ヲ講セラレサルハ教育振興上遺憾ナルニ依リ低利資金貸下ノ途ヲ開キ以テ官公私立平等待遇ノ見地ノ下ニ私學ヲ助成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

私立中等學校ニ對シ國庫補助ノ件
東京市牛込區市谷藥王寺町三十七番
地私立成城中學校校長伯爵兒玉秀雄外
千十七名呈出

右ノ請願ハ全國ニ於ケル六百有餘ノ私立

中等學校ハ社會上貢獻スルトコロ多大ナルニ拘ラス設備ノ不十分並職員待遇ノ菲薄等其遺憾ナルニ依リ之ヲ當面ノ助成策トシテ五年乃至十年計畫ノ下ニ一校年額二萬圓ノ國庫補助金ヲ交付シ以テ其ノ設備改善ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

地先海面漁業免許ニ關スル件
神奈川縣足柄下郡酒匂村大字小八幡
小八幡漁業組合理事内田源太郎呈出
右ノ請願ハ神奈川縣足柄下郡酒匂村大字小八幡ハ古來其ノ地先水面ヲ漁場トシテ部落住民ノ生計ヲ維持シ來タレルモノナルニ拘ラス該水面ニハ他ニ漁業權ヲ既得セルモノアリテ小八幡漁業組合トシテ專用漁業權ヲ得ル能ハサルニ依リ之ヲ適當ノ處置ヲ講シ以テ漁村救済ノ實ヲ擧ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

濟生會事業助成ニ關スル件
東京市京橋區新富町三丁目一番地平民向山庄太郎外三十一名呈出
右ノ請願ハ政府ハ恩賜財團濟生會創立ノ趣旨ト現下ノ國情トニ鑑ミ濟生治教ニ關スル勅語ノ聖旨ニ副ヒ奉ルヨウ寄附金募集ノ援助、國庫補助ノ増額等請願人等所案ノ如ク一層徹底シタル方策ヲ講セラレ

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

北海道留萌郡鬼鹿村ニ船入潤築設ノ件
北海道留萌郡鬼鹿村長堤金次郎呈出
右ノ請願ハ北海道留萌郡鬼鹿村ハ日本海ニ面スル鯨漁業地ニシテ近時沖合漁業ノ發展ニ努ムルモ未漁船ノ繫留及避難ニ恰當ノ漁港ナク一朝風浪ニ際會セムカ人命並漁獲物ノ損失尠カラサルハ遺憾ナルニ依リ速ニ同村ニ船入潤ヲ築設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

北海道利尻郡鷺泊村ニ船入潤築設ノ件
北海道利尻郡鷺泊村大字鷺泊村漁芳川常次外百三名呈出
右ノ請願ハ北海道利尻郡鷺泊村ニ船入潤ヲ築設スルハ宗谷海峽ニ直面スル沖合漁業ノ策源地トシテ貢獻スルノミナラス地方産業ノ進展ヲ企圖シ國家ノ重要使命ヲ遂行スル所以ナルニ依リ速ニ國費ヲ以テ同村東部宇雄忠志内並「オシコントマリ」及野塚方面ニ於テ一船入潤ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

北海道苫前郡初山別漁港修築ノ件
北海道苫前郡初山別村長酒井平外
十二名呈出

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

右ノ請願ハ北海道苫前郡初山別村ノ港灣ハ天然ノ灣形ヲ備ヘ天鹽沿岸中最北港ニシテ漁船ノ避難ニ最適ノ位置ヲ占メ其ノ利用範圍モ亦廣汎ナルモ未人爲ノ施設ヲ缺クハ漁業ノ豐富無盡藏ナル本村沖合漁業ヲ發展セシムル所以ニアラサルヲ以テ速ニ本港灣ヲ修築シテ漁船繫留避難港タル施設ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

鬼怒川上流ニ貯水池設置ノ件
栃木縣廳内市ノ堀普通水利組合組長坂本昇一外十一名呈出
右ノ請願ハ栃木縣ノ中央ヲ貫流スル鬼怒川ハ地方産業上重要ナル河川ナルニモ拘ラス其ノ常時ノ流量ヲ以テハ流域水田ノ灌溉ニ不十分ノ状態ナルヲ以テ渇水時ニ對應スルヨウ灌溉用ノ貯水池ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

耕地擴張改良事業ノ豫算計上ニ關スル件
島根縣仁多郡横田村長松浦準藏外二百七十九名呈出

長野縣上水内郡信濃尻町三百八十三番地農青山左馬允外七百六十二名呈出

富山縣下新川郡西布施村農元野德松外二百八十八名呈出

熊本縣玉名郡賢木村大字長山二千四百三十八番地農武田三郎外八名呈出

茨城縣那珂郡石神村大字石神内宿二千四百五十五番地農根本鶴松外百五十八名呈出

奈良縣磯城郡川東村字法貴寺農安井善作外百九十九名呈出

愛知縣丹羽郡樂田村農平手德三郎外百八十四名呈出

福島縣西白河郡滑津村大字滑津字元村七十八番地農水野谷覺左衛門外五十名呈出

茨城縣茨城郡白河町大字上合千二百二十四番地農佐川利徳外四十二名呈出

山口縣玖珂郡玖珂町農井下與作外三百十五名呈出

長野縣東筑摩郡朝日村三百九十八番地農筒井善人外五名呈出

佐賀縣東松浦郡呼子町大字殿ノ浦千八十七番地農伊藤茂一外千三百七十七名呈出

宮崎縣延岡市大字恒富南五千四百四十二番地農尾崎忠一外一萬千七百九十三名呈出

千葉縣長生郡鶴枝村下永吉二千五百五十番地農丸島良之進外九百二十八名呈出

香川縣綾歌郡林田村農藤原兼助外千三百二十三名呈出

青森縣西津輕郡越水村大字吹原字若草十二番地農大澤市太郎外千九百八十八名呈出

廣島縣豐田郡北生口村百七十三番地農香川逸雄外百十八名呈出

愛知縣岡崎市小美町農鈴木市太郎外百六十六名呈出

茨城縣猿島郡香取村大字水海六十四番地農山中貞次郎外十七名呈出

京都市伏見區橫大路畑申町三十三番地農林留吉外三百五十五名呈出

愛知縣北設樂郡園村大字御園農高橋友彌外四名呈出

福島縣石城郡川部村大字山玉字修路三十一番地農煙田喜一外三十六名呈出

靜岡縣富士郡岩松村松岡千七百四十五番地農中司洪三外八百三十一名呈出

岩手縣岩手郡厨川村農宮田喜代治外百十三名呈出

岐阜縣養老郡日吉村大字中農高木秀雄外四十七名呈出

京都府船井郡下和知村字本庄農福井久之助外百三十三名呈出

青森縣上北郡下田村字中谷地二十七番地農松名英一外百二十八名呈出

長野縣下伊那郡和田村千三百五十番地農小松正人外二十名呈出

愛媛縣西宇和郡八幡濱町大字大平農沖本達太郎外四百九十三名呈出

熊本縣鹿本郡菱形村大字木留七百七十五番地平民農早野友吉外千七百二十名呈出

青森縣下北郡大奥村大字大間字下手道八番地二號農中島岩藏外二百一十一名呈出

熊本縣上益城郡龍野村大字上早川四千六百六十八番地農山内城外千八百一十名呈出

右ノ請願ハ刻下ノ非常時ニ方リ農村對策ノ根幹タル耕地擴張改良事業ノ實行ハ最モ喫緊ノ事タルニ拘ラス昭和九年度豫算案ニ於テ之ニ關スル經費ノ計上殆ント無之ハ極度ニ窮迫セル地方ノ實情ニ即セサルモノナルニ依リ政府ヲシテ今期議會ニ十分ナル追加豫算案ヲ提出セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ヲ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案
帝國議會開院式ニ國歌奉唱ノ件
東京市豊島區巢鴨五丁目千三百三十番地東京音楽學校長乘杉嘉壽呈出

右ノ請願ハ帝國議會開院式ニ於テ聖壽ノ無窮ヲ奉頌セル國歌「君か代」ヲ奉唱奉奏スルハ適切且緊要ナルニ依リ宮内省樂部、陸海軍兩軍樂隊及官立音楽學校等ヲシテ交互ニ奉仕セシメ以テ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ヲ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案
村上神社創立ノ件
長野縣更級郡村上村長大井熊助呈出

右ノ請願ハ建武中興六百年ノ紀年ニ當リ信濃源氏村上氏發祥ノ地トシ義光、義隆兩公祖先ノ墳墓地トシテ緣故最モ深キ長野縣更級郡村上村ニ兩公ノ神社ヲ建設シ其忠誠ヲ顯揚シ皇國ノ彌榮ヲ祈念セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ヲ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案
書道振興獎勵ニ關スル件
東京市品川區西大崎町四丁目七百八十番地平民豐道慶中外三百四十一名呈出

右ノ請願ハ書道ヲ隆盛ナラシムルハ國粹ヲ助長シ各人ノ品性ヲ培養スル良道ナルニ拘ラス藝術トシテ其ノ根元ヲ一ニスル繪畫ノミ獎勵セラレ書道ハ何等顧ミラレズ僅ニ國語ノ一部トシテ取扱ハルルハ甚遺憾ナルヲ以テ繪畫ト等シク書道展覽會ヲ開催スル等斯道獎勵ノ途ヲ講シ以テ一面國民ノ趣味ヲ向上スルト共ニ他面思想ノ善導ニ資セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ヲ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案
奧羽本線鐵道福島、米澤兩驛間鐵道電化ノ件
東京市小石川區鶴籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案
奧羽本線鐵道福島、米澤兩驛間鐵道電化ノ件
東京市小石川區鶴籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案
奧羽本線鐵道福島、米澤兩驛間鐵道電化ノ件
東京市小石川區鶴籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

右ノ請願ハ奥羽本線鐵道中福島、米澤ノ兩驛間ノ線路ハ就中板谷峠ニ於ケル急坂且屈曲多キニ依リ速ニ同區間ヲ電化セシメ以テ危險ノ防止ト速力ノ增加トニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

大湊 大間鐵道速成ニ關スル件

東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ大湊線鐵道ヲ延長シテ青森縣下北郡大間ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ本州、北海道間ヲ連絡スル最捷徑ニシテ運輸交通並國防上資スル所多大ナルニ依リ速ニ之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

三陸沿岸鐵道速成ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ三陸沿岸鐵道ハ附近一帶ノ良港ト相俟テ豐富ナル海田開發上緊要ノ線路ナルニ拘ラス未之カ全通ヲ見ス殊ニ岩手縣山田以南線路ノ今尙建設著手ニ至ラサルハ運輸交通並國防上亦遺憾甚シキニ依リ速ニ之ヲ實現スルヲ望ムル旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

豫定線鐵道青森、五所川原間鐵道速成ニ關スル件

官報號外 昭和九年三月二十日 貴族院議事速記第二十九號 未成年者飲酒禁止法ノ改正法制定ニ反對ノ請願外三十二件

東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十二名呈出
右ノ請願ハ豫定線鐵道青森、五所川原間鐵道ノ中五所川原驛ヨリ北津輕郡小泊ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ五能線鐵道ノ完通ト相俟テ沿線地方ニ於ケル産業並交通上須要ナル線路ナルニ依リ速ニ之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

北滿鐵道運賃低減ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十二名呈出

右ノ請願ハ新京雄基間鐵道ハ新京、大連間鐵道ニ比シ短距離ナルニ拘ラズ之カ運賃ハ反テ二倍乃至三倍ノ高率ナルモノアルハ近ク北鮮鐵路ノ開設ヲ見ムトスル東北地方諸港ニ於ケル期待ヲ裏切り又産業、貿易上遺憾ナルヲ以テ同運賃ヲ適當ニ低減セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

石巻港修築事業繼續ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ東北地方ニ於ケル要港ナル宮城縣石巻港ハ輓近市制ノ施行ニ伴ヒ之カ港灣施設ノ完備ヲ要スルコト切ナリ然ルニ同港ハ北上河口ニ位セル爲一定ノ水深ヲ維持スル必要アルニ依リ現行修築工事ハ之ヲ繼續實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

青森港修築年限短縮ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ青森港ハ近時滿鮮間ニ交通開ケ船舶ノ出入、貨物ノ吞吐愈激増セルニ拘ラス同港ニ於ケル第二期計畫工事ハ昭和十六年度竣工ニシテ同港現下ノ情勢上遺憾ナルニ依リ速ニ該竣工期ハ可及的線上ケテ爲サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

東北地方重要港灣ニ移動浚渫設備ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ東北六縣ニ於ケル第二種重要港灣ハ其ノ修築工事ニ際シ浚渫ニ重點ヲ置クノ維持スル之カ完成後ト雖亦一定ノ水深ヲ維持スルノ必要アルニ依リ之カ當面ノ對策トシテ適當ナル浚渫船ヲ設備シ之等港灣ノ巡回作業ニ當ラシメ以テ同地方ノ産業開發ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

時局匡救事業繼續ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ民力ノ疲弊、産業ノ不振共ニ其ノ極ニ在ル東北地方ニ於ケル時局匡救事業ハ明年度ニ於テ之カ經費ノ大減額ニ遭フノミナラス愈明後年度ヨリ之カ廢止

セラルルヤウニ聞クテハ反テ匡救ノ效ヲ空フルヲ以テ同事業ハ特ニ該地方ニ限リ繼續セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

東北地方ニ國立水産試驗場設置ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ東北地方ハ海岸線ニ富ミ就中三陸沿岸一帶ハ豐富ナル海田ニ面シ爲ニ漁船ノ出入、漁獲物ノ集散共ニ旺盛ナルコト全國共ノ比ヲ見サルニ拘ラズ未同地方ニハ水産業ニ關スル試驗ハ研究ノ特設機關ナキハ斯業ノ指導獎勵上甚遺憾ナルニ依リ同地方ノ恰適地ニ國立水産試驗場又ハ其ノ分場ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

東北地方ニ國立園藝試驗場設置ノ件
東京市小石川區駕籠町四十九番地士族菅原通敬外二十三名呈出

右ノ請願ハ東北地方ハ輓近林檎、櫻桃、白菜等果樹園藝種シク發達セルヲ病蟲害共ノ他氣候風土ノ關係上損傷甚カサルニ依リ同地方適當ノ地ニ國立園藝試驗場ヲ設置シ以テ之カ試驗並指導ニ當ルコト共ニ暖地方面ト均衡ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

東北地方ニ肥料配合所設置ノ件

東京市小石川區鶴籠町四十九番地土族菅原通敬外二十三名呈出
右ノ請願ハ山形、宮城二縣ハ古來米産地トシテ我邦屈指ノ優良米ヲ産出シ之ニ要スル各種肥料ノ移入ハ相當多額ニ上ルノ實狀ニアルニ依リ山形縣酒田港ニ肥料配合所ヲ設置セラルルヤニ仄聞スルモ宮城縣ニ於テハ鹽釜等ノ如キ海陸運輸交通至便ノ地ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

東北地方、滿鮮地方間ニ連絡航路開設ノ件

東京市小石川區鶴籠町四十九番地土族菅原通敬外二十二名呈出
右ノ請願ハ本邦、大陸間ノ連絡上地ノ利ヲ有スル東北地方ハ青森、八戸、船川等ノ良港アルニ依リ之等ノ中適當ナル要港ト北鮮トノ間ニ連絡航路ヲ開設スルハ速ク滿洲トノ商取引ヲ促進スルノミナラス亦同地方ニ於ケル産業振興並海外發展上緊要ノ對策ナルヲ以テ之ヲ實現ヲ圖ラシテ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

男爵阪谷芳郎君 質問ガゴザイマス

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス
〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ委員長ニ御質問イタシマスガ、日程第十七ノ未成年者飲酒禁止法ノ改正法制定ニ反對ノ請願、此飲酒禁止ト云フコトハ重大ナ問題アリマシテ、世界列國ニ於テ飲酒ト云フモノハ宜シクナイ、健康上害ガアリ、又風俗上其他甚ダ宜シクナイト云フコトハ、モウ一定ノ議論デアアル、マア既ニ支那ノ歴史ニ於テモ儀狄ガ酒ヲ造ツ時分ニ、禹ガ之ヲ飲ンデ甘シトシテ、後世國ヲ亡ス者アリト云フコト云フコトモアリマス、今日ノ新聞記事ヲ御覽ナサツテモ、此酒ト婦人ノコトニ關係セザルモノハ殆ドナイ、ソレ故ニ列國ノ政治家ガ飲酒ト云フコトニ付テ段々制裁ヲ加ヘテ居ルト云フコトハ、爭ハレヌ趨勢デアルト思フノデアリマス、唯最近米國ガ餘リニ急激ナ禁酒法ヲ斷行シタガ爲ニ、取締上甚ダ不行届ノコトガ段々起ツガ爲ニ、多少修正ヲ致シマシテ、今マデ國ガ禁酒法居ラヌノヲ各州ノ禁止ニ委セルヤウニ致シタノガ傳ツテ、禁酒法ト云フモノハ到底行ハレヌモノダト云フヤウナ議論モアリマスガ、併シ道徳論トシテ、宗教論トシテ、此禁酒ガ……、酒ヲ飲ムト云フコトノ宜シト云フヤウナコトヲ言フハ甚ダ宜シクナイ、デ委員長ガ御採擇ニナリマシトハ、サウユフ意味デアラナラバ、本員ハ甚ダ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、之ヲ唯全會一致デ通過スルト云フコトハ、貴族院ノ恥辱デアルトマデ本員ハ考ヘル、一人位反對ガアルテモ差支ナイ譯デアアル、デ委員長ハ飲酒ト云フコトハ道徳上宜シト云フ意味デ御採擇ニナツカカヤ、其點ヲ伺ツテ置キマス

男爵清岡長吉君 此請願ノ趣旨ハ未成年者ニ禁セラレテ居リマシタ飲酒ヲバ、二十歳マデニシヤウ、斯ウ云フコトニナル法律ニ反對シテ、矢張り現行ノ法律通り二十歳マデニ禁酒ニシヤウ、斯ウ云フ請願デゴザイマシテ、ソレデ委員會ニ於キマシテハ、別段飲酒ガ道徳上惡イコトデアルトカ良イコトデアルトカ云フ議論ハ出マセナカッタノデアリマス、唯從來通り二十歳マデニ致シテ置イタガ宜カラウ、斯様ニ存ジマシテ、此請願ヲ採擇イタシタ次第デゴザイマス

男爵阪谷芳郎君 然ラバ本員ハ之ニ反對

イタシマス、現在全國ノ教化團體ニ於キマシテモ、非常ニ此今日ノ教化ノコトニハ力ヲ盡シテ皆働イテ、涙グマシイ働キヲシテ居ルノデアリマス、サウ云フ際ニ貴族院ガ

酒ヲ飲ンデ宜シト云フヤウナコトヲ獎勵スルト云フコトハ宜シクナイ、法律其モノノ提案ニナツテ理由ニ付テ失テ論スルノハ、ソレハ又利害關係ノ人モアリマセウケレドモ、マダ貴族院ハ茲ニ法律モ何モ持テナイ、何モナイノニ、唯未成年者ノ法律ヲ改正シテハイカヌト云フコトヲ言フノハ、道徳上貴族院ハ酒ヲ飲ンデ宜シト云フコトヲ獎勵スル意味ニナル、サウ誤解サレテモ仕方ガナイ、デ今日ノ日本ノ教化運動ト云フモノハ非常ニ、各社會事業業者ガ非常ナガ盡力ヲシテ居ル今日此際、斯ウ云フモノガ通過スルト云フコトハ宜シクアリタシマカラ、本員ハ此第十七項ニハ反對イタシマス

男爵清岡長吉君 酒ヲ飲ムコトヲ獎勵

シタ意味ニ於テ之ヲ採擇イタシタノデハゴザイマセヌ、二十歳マデデアルノヲ、二十歳マデニ延バサウ云フ法律ガ出ラナラバ、ソレニハ反對デアアル、ドウカ矢張り現行ノ法律通りニ行ハレタイ、斯ウ云フヤウナ請願デアツテ、政府ニ於テモ今二十歳マデニシテモ取締ガ甚ダムツカシイ、犯罪ヲ起ス人モ多クアル、況ヤ二十五歳以上ニ致シマシタナラバ此犯罪者ガ非常ニ殖ムル、斯ウ云フヤウナ取締ノ上カラ致シマシテモ、矢張り現行ノ法律ノ儘ニ致シマシテカラウ、斯ウ云フヤウナ意見ヲ以テマシテ委員會ニ於テ之ヲ採擇イタシタ次第、決シテ只今仰セノヤウニ酒ヲ飲ムコトヲ獎勵マセヌ、是ダケ申上ゲテ置キマス

男爵阪谷芳郎君 本員ハ改正案ガ出レバ

改正案ヲ贊成スルノデス、現在ノ未成年、即チ二十一歳ヲ以テ制限シテアル法律ガ無理ナラバ、二十一歳アルカ、二十二歳アルカ、二十三歳アルカ、其區別ガ大變取締上ムツカシイ、ソレデ之ヲ未成年ト言ハズニ二十五ナラ二十五トシタガ大變取締ガ任ヨイ、現行法ヲ贊成ノ意味デアラナラバ此改正ノ趣旨モ徹底シテ居ルト思フ、併ナガラ今日ソレヲ論議スルノデハナイ、何モ法律モ何モ意見ヲ吐露シテ宜イ譯デアアル、唯各各自其意ヲ示シテ宜イ譯デアアル、唯ボンヤリト未成年禁酒反對ト云フヤウナコトヲ決議スルノハ、何カ誤解ニ引摺リ込

委員辭任ノ件

マレルヤウナ、世ノ中ニ惑ヒヲ起ス虞ガアル、ソレ故本員ハ矢張り反對イタシマス、
○副議長(伯爵松平賴壽君) 先程議長ガ宜告イタシマシタ第十七ヨリ四十九マデト申シマシタガ、改メマシテ第十七ケヲ議題ト致シマス、是ニ付テ採決ヲ致シタイト存ジマス、日程第十七、未成年者飲酒禁止法ノ改正法制定ニ反對ノ請願、請願委員長ノ報告通り採擇スルコトニ、御賛成ノ方ノ御起立ヲ願ヒタイト存ジマス
〔起立者多數〕

副議長(伯爵松平賴壽君) 過半数ト認め

マス、故ニ是ハ採擇サレマシタ
○副議長(伯爵松平賴壽君) 次ニ日程第十八カラ四十九迄ヲ議題ニ供シマス、請願全部、委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト

認メマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 本日、有吉忠一君ヨリ都合ニ依リ、地方財政補整交付金法案外二件ノ特別委員ノ辭任ノ申出ガゴザイマシタ、許可スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト

認メマス、有吉君ノ補闕トシテ田所美治君ヲ指名イタシマス、本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、次會ノ議事日程ハ決定次第、本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
午前十一時四十四分散會

貴族院議事速記第二十六號正誤

頁段 行 誤 正
三〇七 四 九 裡 裏
三〇八 三 二六 此新規ノ 此ノ

内閣印刷局